

発行日：2012年4月1日

## 自分の土俵は自分でつくろう

社会福祉法人 もえぎの会 監事  
社会福祉法人 同愛会 日の出福祉園  
施設長 古山恵治



昨年発生した東日本震災以後、日本人の心を見せ付けられていると思います。日本の社会全体が岐路に立っています。現在、福祉を取り巻く環境は大きく変化しており、従来、社会福祉法人が担ってきた事業を、NPOも株式会社も行う時代になっています。福祉の範囲が広がり、進歩しています。このような時代に、私たち社会福祉法人の職員の役割を、改めて、真摯に、考えなければなりません。私たち社会福祉法人の長い経験と技術、実績に基づき、どのような利用者であっても支援ができ、利用者を選ばないという基本を「職員の資質」として全員が持つことです。さらに「利用者が社会に参加する」という、当たり前のことを目指していきましょう。この当たり前の社会へ参加するということを、利用者一人一人に合わせてどのようなことができるかを考えていくことです。私たちの職業は、利用者の存在なくしてはありえません。その利用者がどのような人なのか考え、支援を行います。

「利他の心」を持って、人を育てる仕事を作っていきます。「利他の心」とは、常に他人の幸福や利益を考える心です。利用者も職員も育てることが組織の目指すところです。利用者中心の支援ができる事業所を目指してください。さらに、人々の存在そのものを歓迎する心を養い、表現できる人財となって欲しいと思います。他責ではなく自責で行う。われわれの仕事は、「人を成長させることで自身も成長することです。」

目標は、障害があろうが無かろうが、「大人になったら社会に参加する」ことです。参加の仕方は個別です。ゆえに個別支援計画が大事になります。「自分でできることは自分でする」ということを利用者も職員も行っていきましょう。「やれ」ではありません。いかに自分から取り掛かるか、まず自分が動いていきましょう。

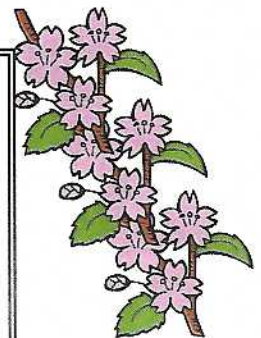
このような時代であるからこそ振り返って欲しいと思います。目の前の利用者が何を望み、どのような暮らしをしたいのか、それを誰としたいのかを皆さんで考えていきましょう。

### 2012年度 もえぎの会 事業報告会・懇親会のご案内

下記のように本年度の開催を予定しております。

7月21日(土) 目黒区総合庁舎 2階大会議室

改めて、ご案内をお送りいたします。ぜひ、お誘いあわせの上、ご出席していただきますようお願い申し上げます。



## しいの実社 2012年度事業計画

地球温暖化のせい、今冬は厳しい寒さが日本列島を包みましたが、少しずつ日差しの暖かさを感じ、遅れていた春を迎え、スタッフ・社員は新たな気持ちで、新年度をスタートしました。法人としては、昨年7月に記念の式典を行い、節目を迎え、新しい未来へ向かって、新たな飛躍の初年度となります。

しいの実社は、3事業の安定運営を進めるとともに、社員・家族の高齢化や定員超過、就労支援、相談支援・生活支援などの課題に取り組み、必要な事業を創設します。そのために、しいの実社だけでなく、他の事業者や行政などと連携し、目黒全体の障害者福祉を前進させたいと決意しています。

### 重点課題

しいの実社は働く場所という姿勢で支援します。社員のニーズ、適性に合わせて、仕事の供を行い、高齢社員への配慮、製品に対する消費者ニーズの変化を考慮します。高齢社員には、落ち着いた環境の整備、特別プログラムの実施、高齢者サービスとの連携などを試行します。

スタッフ間や事業所間の情報共有、均一化した支援力の向上など支援の質の向上に努め、成果を上げます。社員・家族との連携をさらに強化し、深い信頼関係で、長期的な視野に立った支援を、積極的に推進します。

- ① 就労継続支援B型事業
  1. 2つの事業所の連携強化と生産維持
  2. 生産/販売増加による工賃の向上
  3. 就労に向けた意識づくり
- ② 生活介護事業
  1. 社員の安定した生活と生活の幅の拡大
  2. 達成感、満足感を持てる仕事の提供
  3. ウォーキングや体操など体力の向上
- ③ 就労移行支援事業
  1. 就労に向けた基礎知識の習得
  2. 生産維持と社会参加の機会づくり
  3. 一般就労に向けて多様な実習先の確保

さらに、地域に根ざす活動の一環として、小、中学校の職場体験の場、特別支援学校や大学などの実習の場として積極的に協力します。その結果、社員が地域で安心して暮らせるように、日中活動の場であるしいの実社、生活の場である沙羅の家を引き続き運営します。

## 記念DVD完成とホームページ刷新のお知らせ

もえぎの会は1978年の活動開始以来、30年を超え、法人認可後、10年を超えまして、昨年7月に「活動30周年、法人10周年」の記念式典を開催しました。そこで、記念式典に加えて、30年の実践の歴史、現在の活動を記録した記念DVDを作成しましたので、広報誌「萌木」共にお送りします。ぜひ、ご鑑賞して頂き、感想をお寄せ頂きますようお願い申し上げます。

【感想の送付先】

- － メール shiinomisha@abeam.ocn.ne.jp
- － FAX 03-3760-4193
- － ホームページのお問い合わせページより  
<http://www.moeginokai.jp/>

### 第10回 しいの実祭 開催

2011年11月26日(土)に第10回しいの実祭を開催しました。10回記念ということで、10年を振り返る写真の展示や10周年記念のしいの実社商品セットを用意しました。

天気にも恵まれて、初めて1000名を超える参加者となりました。後援会会員としてお世話になっている近隣の白川電機さん、五十嵐電機さん、大正鉄筋さん、平研磨さんに場所をお借りして、狭いしいの実社の敷地をカバーしました。地元の清水町会さんの焼きそばやフランクフルトの屋台、後援会によるバザーの開催や豚汁の販売、後援会会員である天ぶら割烹 川さきさんの揚げたて天婦羅、目黒区その他施設の販売などで協力して頂きました。施設内では、オカリナ、アコーディオン、ハーモニカなどの楽器演奏やしいの実社の活動の展示、商品の販売など、1日通して賑わいを見せていました。

改めて、地域に支えられた10年であり、今後ともさらに深く地域に根付いていくように活動することを確認しました。



オープニング



清水町会 屋台



後援会バザー



打ち上げ お疲れ様

### 土曜日開所

日付	選択	参加者数	内容
4月16日		27	映画、外食
5月15日		29	カラオケ、外食
6月4日	いず	18	映画、外食
6月18日	れか	12	外出(地震の学習館)、外食
7月2日	いず	10	川の資料館、外食
8月6日	れか	18	カラオケ、外食
10月1日		25	映画、外食
11月5日		26	カラオケ、外食
12月17日		27	ケーキ作り、買い物、お楽しみ会
1月21日		22	映画、外食
2月4日	いず	8	電車、外食
2月18日	れか	20	カラオケ、外食
3月3日	いず	14	散策(すすめのお宿周辺)、外食
3月17日	れか	14	電車、外食
合計		270	
平均参加人数		27.0	平均参加率 56.3%

余暇活動は暮らしの幅を広げ、よい仕事を支え、地域の人とつながる機会を増やします。しいの実社では、土曜開所のプログラムとして取り組み、参加者は少しずつ増えています。社員の多様なニーズに一つのプログラムでは応えられないため、ボランティアさんのサポートもお願いして、地域の資源を利用できる少人数のグループの企画も取り入れています。

大好きなカラオケ



みんなで食事!



すすめのお宿

## 株式会社 青山鈴木硝子店

住所：世田谷区桜新町1-2-5

ホームページ：<http://aosuzu.co.jp/>

青山鈴木硝子店は、昭和28年にお父様が青山にて創業。2代目の鈴木啓三社長を桜新町サザエさん通りを抜けた世田谷店にお訪ねしました。

事業はその名の通り、ガラスやサッシなど建物の開口部全般、雨戸やシャッター、玄関ドアの工事や取り付けです。住宅の防音、断熱、省エネなどで、特に「エコリフォーム」が注目されています。

世田谷店の作業場は、まるで大劇場の舞台裏を大きくしたような作業「空間」で、10トン車で運び込まれた材料をクレーンで吊り上げるため地上11メートルの高さです。製作された開口部のパーツが、他の部位と組み合わされ、建物に組み込まれます。「自分たちが携わった建物が地図に載った時、やりがいを感じます。この建物に携わったと、誇りをもって伝えられる仕事でありたい」と語ってくださいました。

この時代、頭の痛いことはおありだそうですが、唯一のリフレッシュ法はゴルフだそうです。年間50回はお出かけになり、気分転換、ストレス解消には一番だそうです。

もえぎの会との出会いで、「今まで、通り過ぎていた障害のある人や高齢者、病気など弱い立場の人たちのことが気になってきました」とおっしゃいます。



鈴木啓三社長

このように気にかけてくださるところから真のバリアフリーが始まるのではないかと冷たい雨の日でしたが、温かい気持ちをいただいて帰りました。これからもよろしく願います。



作業空間



会社の外観

## 株式会社 キョーワハーツ



住所：横浜市港北区高田西1-5-1

ホームページ：<http://www.kyowa-hearts.com/>

携帯電話の部品をはじめ精密金属部品を設計、製作するキョーワハーツは目黒区青葉台で1951年に創業。創立60年を迎え、現在は2代目の坂本悟社長のもと、私たちの目にはつきませんが、暮らしを支える「ものづくり」に心をこめ、お客様に喜ばれる会社をめざしていらっしゃいます。

現社長が入社前に、先代が病に倒れ、経営危機の克服と建て直しが始まりました。明けぬ夜を越え暁光が見えた時、先代やご兄弟の他界、悲しみを再び乗り越え今に至っています。会社を継がれてからの話を聞き、その勤勉で前向きな姿勢に頭が下がりました。

「待っているだけでは生き残れない。世の中のニーズを知り、それを解決、支援する製品を自ら作り提供する」というお話には、難しい時代に会社を運営していく厳しさと緊張感を感じました。しいの実社も、受注だけでなく、買っていただける製品を考え作り販路を開拓しているという点に、社長も共感して下さったのは、嬉しく思いました。また、「事業の大切な柱は、人づくりにあります」と社員のみなさんを大切にいらっしゃる姿勢は心に響きました。

4人のお子さんの父でもあり、休日は地域の子どもの居場所作りや農業体験教室のサポート、そして奥様と外出をされるなど、仕事、地域、家庭とそれぞれ大事にされ、それが仕事へのエネルギーやアイデアにつながるのだと思いました。



坂本悟 社長



社員を大切に



会社の外観



株式会社 青木工務店 株式会社 青木工務店

住 所 : 目黒区青葉台2-20-13

ホームページ: <http://www.aokikoumuten.com>

1947年、祖父源之助氏により設立された青木工務店。当時は町工場が多く、馬やトロリーバスの走る古き良き時代から地元とともに歩んでこられました。家族で基礎を築き、今年4月で創立65周年です。うかがったのは4代目の青木茂社長。バブル期の就任時に先代たちの「周囲に惑わされることなく本業に専念すること」という教えを守り、「企業十訓」の最初に「地元・本業・こころを大切にするとあります。「建物が完成した後も季節ごとに、住み心地や様子をみさせていただく」という姿勢が、先代が建てた木造の建物を自分の代にマンションなどに建て直す仕事につながっています。また技術面はもとより財務面も研究し相談を受け、ノウハウを提供して、それがご縁でつながった時、地元を根を張る実感をおっしゃいます。

趣味は「一言で言えば日本伝統芸能です」とのこと。古典落語、歌舞伎、また京都のお寺や建物、そして相撲と多岐に渡ります。佐渡ヶ嶽部屋の朝稽古を見て、「目の前のぶつかり稽古の音の迫りに圧倒されます。入門したばかりの小さなお相撲さんがだんだん大きく成長してゆく姿を見るのもうれしいものです」とおっしゃいます。

HPの「あおき日和」を見せていただくと、たくさんの楽しいお話に出会えます。

社員の家族の皆さんとの和気藹藹とした様子や、特に創立記念日の感謝状の内容が、その方だけの「世界で一枚」の文面になっていることなどをお話くださる姿に、社員のみなさんへの思いが伝わってきました。

もえぎの会へは「障害があっても特徴や長所を生かしていければいいですね」とおっしゃいます。「企業十訓の最後に、『明るく・笑顔で・遅く 働く』とありますが、これは障害があってもなくても、みんなに言えることですね。苦虫を噛み潰しては福は寄って来ませんよ」とアドバイスをいただきました。



青木茂社長

最後に、玄関の優しいお福さん人形に見送られ社を後にしました。



本社外観

## 新規後援会員をご紹介します

年会費 1口1,000円 個人会員 1口以上、 法人会員 10口以上

会費はお手数ですが、直接お持ち頂くか、下記口座へお振込みください。

郵便振込口座 00130-5-667751

口座名義 もえぎの会後援会

問い合わせ先 もえぎの会後援会事務局(電話:03-5724-7153)

## 沙羅の家

# 萌木

### 祝・沙羅の家 向原 1周年

世話人 長谷茂雄

この4月で沙羅の家向原がオープンして1年になります。5月に利用者2名からスタートし、丁寧に少しずつ人数も増え、4月現在で6名の方が入居しています。

2軒に増えたことによる運営の難しさや大変さはありますが、これからも利用者のみなさんにとって住みやすい環境を整えていきたいと思ひます。



歓迎 大蔵さん入居

### 外出イベント@スカイバス

昨年11月3日(文化の日)に沙羅の家、沙羅の家 向原合同でスカイバスに乗り、浅草に行ってきました。屋根のないバスで気分爽快でした。天気に恵まれてスカイツリーもよく見えました。

スカイツリーをバックに、  
スカイバスにて



全員集合!! バスの前でパチリ

### 外出イベント@中目黒

今年3月20日の祝日に沙羅の家、沙羅の家 向原合同で目黒川を散歩して中目黒にある「チェルキオ」まで行ってきました。オシャレなレストランで美味しいランチの Pasta やカレーなどを食べ、食後にはチョコケーキやプリンなどのデザートも食べて皆さん大満足だったようです。桜にはまだ早かったですが、天気に恵まれ楽しい祝日が過ごせました。



沙羅の家 向原  
を出発

みんなで食事  
いろいろ食べて満足



#### 編集後記

猛暑から急に秋がやってきました。皆様体調を崩されたりしていませんか? しいの実社ではこれからのしいの実祭をはじめイベントの多い季節となります。皆さまぜひ遊びにいらしてください。(竹田)

発行: 社会福祉法人もえぎの会

住所: 目黒区目黒本町2-7-3

(法人本部) 電話: 03-5724-7153

e-mail: shiinomisha@abeam.ocn.ne.jp

http://www.moeginokai.jp/

